

第4回

銀河の会主催

大人のためのおはなし会



宮沢賢治作

ぼっこ

ざしき童子のはなし

2024年

8月18日

開演13:00

開場12:30 終演予定14:20

途中休憩あり

プログラム

1部 市川さつきによる表現よみ

「ざしき童子のはなし」

音楽 Every オリジナル作曲&編曲

2部 Everlyコンサート

小金井宮地楽器ホール 小ホール

大人2,500円 小中学生1,500円

全席自由 (未就学児入場不可)

2024年6月1日より発売開始

連絡先: 080-1232-0794(松尾)

ごあいさつ

「ざしき童子のはなし」は1926年(大正15年)に雑誌「月曜」に掲載された賢治の数少ない生前発表童話の一つです。

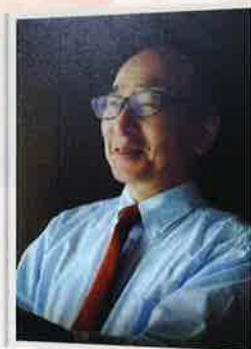
庭で遊んでいる二人の子ども。家の座敷から簾で部屋を掃く音がする。そうっと家に入って眺めても誰もいない……。さて、ざしき童子は人を怖がらせる妖怪？それとも幸せをもたらす精霊なのでしょうか。

賢治は「ぼくらの方のざしき童子のはなし」として4つの短いおはなしを紹介してくれています。ピアノと弦楽器の深い味わいに支えられた、市川さつきの豊かな表現よみを、どうぞお楽しみに。

銀河の会 主宰 松尾潤子

読み手 市川さつき -satsuki ichikawa-

絵本美術館「森のおうち」(長野県安曇野市)の現名誉館長酒井倫子氏に2007年より師事し研鑽を積む。現在は朗読講師小出伊保氏に師事し、長野・東京等で各種朗読会に出演している。「目で見て、身体で感じて、声に出す」という“表現よみ”の深く確かな理解に努めている。



木版画家 伊藤卓美 -takumi itow-

民俗芸能に魅せられ、その感動を木版画として表現することをライフワークとする。また、賢治の世界観に大きな影響を受け、賢治作品を題材にした版画を長年にわたって手がけている。国内外で個展を開く。

早稲田大学エクステーションセンター講師

木版画「ざしき童子のはなし」は、第4回銀河の会の為に制作されたものです。

演奏協力

・ Everly
(バイオリン・ピアノ・ギター)

・ 井利 智子
(チェロ)



【小金井 宮地楽器ホール】
所在地
〒184-0004
東京都小金井市本町6-14-45
(JR中央線「武蔵小金井駅」南口駅前)

